

## 主催者あいさつ

昨年の2月には、恒例の「北東アジア経済発展国際会議 (NICE) イン新潟」と「日露エネルギー・環境対話イン新潟」の同時開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が始まったため、延期することを決定しました。本年は、新型コロナウイルスが依然終息しない状況ですが、NICEと日露エネルギー・環境対話の運営方法を変更して開催することになりました。昨年の予定では、NICEと日露エネルギー・環境対話を2日連続で朱鷺メッセ（新潟市）の会場で行うことにしていましたが、本年はそれを1月から3月にかけてオンラインを中心に、4日に分けて4つのステージとして行うことにしました。

NICEは、その前身である「北東アジア経済会議」（1996-2006年）及びその前の「環日本海交流圏フォーラム」（1990-95年）を含めると、今回で29回目の開催となります。日露エネルギー・環境対話は2008年11月に始まり、今回で12回目の開催となります。NICEと日露エネルギー・環境対話を同時期に開催することで、経済問題とエネルギー・環境問題を持続可能な経済発展という視点からトータルに議論できるものと考えています。

ERINAは新潟県、新潟市とともにNICE及び日露エネルギー・環境対話の運営に当たってきました。ERINAは1993年に設立されてから28年になります。北東アジアの経済発展と域内経済協力の強化に向けて、各国の経済動向・対外経済関係の調査研究を行い、域内経済交流の活性化支援や、経済・ビジネス情報の対外発信に取り組んできました。とくに中国の東北地域、ロシアの極東地域、韓国、北朝鮮、モンゴルに焦点を当て、日本及びこれら諸国・地域間の経済的な相互依存関係や国際運輸・物流、貿易・投資、資源・エネルギー・環境、開発金融、人的交流などの分野に力を入れています。北東アジアの平和・安定・繁栄のための経済的な基盤の拡大・強化に寄与すべく、「シンク・アンド・ドウ・タンク」として諸課題の特定、解決策の追求、政策提言の作成につなげていくことをめざしています。

本年のNICEでは、台頭する中国の経済発展を中心テーマに掲げ、そこに新型コロナウイルス感染拡大の影響やグローバル・サプライチェーンの変容などを踏まえながら、北東アジア域内経済協力のあり方に焦点を当てます。日露エネルギー・環境対話では、日・露だけでなく中・露のエネルギー協力や北東アジア域内の省エネ・環境協力について取り上げます。とくに日本の菅政権が2050年までに温室効果ガスの排出



2021 Northeast Asia International Conference for Economic Development (NICE) in Niigata  
with the Japan-Russia Energy and Environment Dialogue in Niigata

2021 北東アジア経済発展国際会議 (NICE) イン新潟・日露エネルギー・環境対話イン新潟

量を実質ゼロとする目標を掲げ、米国のバイデン次期政権がパリ協定に復帰することが見込まれることから、今後は気候変動へのより真剣な対応が求められます。

本年は4つのステージに分けた分散開催とし、最初の3つのステージはオンライン（Web配信）とし、ファイナル・ステージはオフライン（朱鷺メッセの会場）とオンライン（Web配信）の両者で行う予定です。いずれのステージもオンラインで視聴できるので、世界のどこからでも参加することが可能です。各ステージでは、各分野の第一人者による基調講演に続き、第一線の政策担当者・研究者・民間企業の専門家による報告が行われ、活発な議論を行って頂きます。ファイナル・ステージでは一般財団法人・日本総合研究所の寺島実郎会長から「アジアダイナミズムへの戦略的対応」と題する特別講演を頂いた後、3つのステージでの議論のまとめが報告され、Future Leaders Programのプレゼンテーションと審査が行われます。

Future Leaders Programは今回で2回目となりますが、北東アジア地域に関心をもつERINAの出捐県（新潟県など中部・東北・関東の11県）の大学生・大学院生に「北東アジア未来シナリオ」について深く考え、問題提起をしてもらおうとするものです。第一次書類審査に通った5組の個人・グループがプレゼンテーションのかたちで互いに競い、最優秀の個人・グループには新潟県知事賞が贈られます。こうしたイベントを通じて、若い世代の方々に北東アジア問題についての将来のリーダーになってもらいたいと思っています。今後は、Future Leaders Programの対象を日本全国や北東アジア地域の大学にも拡大していくことを考えています。

本年のNICEと日露エネルギー・環境対話やFuture Leaders Programを通じて、新型コロナ等の国際保健、中国経済、エネルギー・環境、貿易・投資・サプライチェーン、国際物流など北東アジア地域の直面する諸課題についての認識が共有され、課題解決に向けた多面的かつ現実的な経済協力の方向・行動が提示されることが期待されます。若手世代の活躍にも注目が集まります。NICEと日露エネルギー・環境対話がこれまでと同様、全ての参加者の方々にとって有益なものになるよう、活発な議論をお願いいたします。

NICE 実行委員長  
ERINA 代表理事・所長 河合正弘